

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
34161	防災訓練事業	総務課	危機管理係	小澤 辰一	山田 勝己
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2206
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	予算コード 0213	事業名(歳出予算見積書) 危機管理防災事業	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり	
		節 (コード選択)	4節	安心な生活環境の創出	
		項[基本施策] (コード選択)	1項	災害に強いまちづくり	
		目[主な施策] (コード選択)	6目	防災意識の高揚	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町民及び防災関係者

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

災害から生命や財産を守るためにも家庭・地域住民が一体となり、災害時に迅速な災害対応ができるようにする。
自主的に訓練に参加する人口・世帯の増加を図る。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	災害を想定した防災訓練の実施
2	自主防災組織の育成
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度				
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)			
①	指標名	防災訓練実施回数		回	1	1	1	1.00	27	年度(見込み)
	説明	町が主催し防災訓練を実施する		目標値設定の根拠	年1回実施					
②	指標名	自主防災組織数		組織数	17	17	17	1.00	27	年度(見込み)
	説明	地域における自主防災組織の強化		目標値設定の根拠	全区に1組織の設立を目指す					

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度				
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)			
①	指標名	防災訓練参加率		%	35	39	50	0.78	27	年度(見込み)
	説明	防災訓練に参加した人数		目標値設定の根拠	前年の0.5%増を見込む					
②	指標名	自主防災組織率		%	100	100	100	1.00	27	年度(見込み)
	説明	組織した区数		目標値設定の根拠	設立経費を助成しながら組織化を促す					

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)

	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度見込み					
対前年比		74.2	59.6					
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)								
B)一般財源(税金)	1,646	1,222	728					
①事業費 (千円)	964	593	100					
対前年比		61.5	16.9					
②人件費の概算 (千円)	682	629	628					
対前年比		92.2	99.8					
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費
	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24			
町職員(正規職員)	0.01 0.01 0.01	0.03 0.03 0.03	0.02 0.02 0.02	0.02 0.02 0.02	0.08 0.08 0.08	682	629	628
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0	0	0

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある → [] Bの場合その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある → [] Bの場合その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → [] D 成果が少なく今後も向上する見込みがない → [] C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある → [] C 今後は可能性はない A・Bの場合その具体的な内容をお書きください 消防署、辰野病院、建設水道課等と連携
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → [] D かなり余地あり → [] C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → [] D かなり検討の余地あり → [] C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → [] C 把握していない A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください 職員からの訓練現地調査表の提出と、各区長からの訓練内容の報告及び反省点を提出していただいている。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度) []

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

東日本大震災の影響もあり、住民の関心度の高い中での防災訓練となり、地域住民が緊密かつ有機的な連携を図りつつ実施し、有事に際しても即応できる体制を確立するとともに、地域住民の防災行動力の強化と防災意識の普及高揚を図ることが出来た。各課横断的に対応し、浄水器による飲料水の確保訓練等の新規訓練も増やした。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

地震や土砂災害を想定した訓練を積み重ねる。区に入らない住民や住民登録なしでアパート等に住んでいる住民を東日本大震災の経験から自主防災組織に参加してもらえよう願っています。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

大震災の後の訓練であり、大勢の参加を得て、実り多い訓練ができた。主会場においては避難所開設等の種目が実施されたが、各自主防災組織による共助の訓練、特に要援護者、避難所運営の訓練の実施をお願いしていく。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



b 上記 a~e を選択